

森林資源保存や活用理解

森林を考える岡山県民のつどい

多彩な催し満喫 家族連れら大勢

第21回「森林（もり）を考える岡山県民のつどい」（同実行委主催）が22日、大田のグリーンヒルズ津山で開かれ、大勢の家族連れらが多彩な催しを通じて木の魅力を体感し、森林資源の保全や活用への理解を深めた。

テント村の木工教室コーナーでは、クラフト小物やヒノキ箸作りが人気を集め、子どもたちは父母らに手伝ってもらいながらパーツを接着したり、かんなをかかけたり夢中で工作。展示販売コーナーには、いすやプランターケースといった木工品、さまざまな銘木、建築用の端材が格安で販売されたほか、テイクアウトの飲食ブースにもぎわっていた。

箸作りを楽しんだ沼の主婦・延原理衣さん（38）は「親子での工作

は初めて。かんなど削る感覚が気持ちよく、夢中の様子です」と話していった。

ヒノキの香りにも癒やされた。娘たちも



ヒノキ箸作りを楽しむ来場者

ては山下昇功倉庫大名誉教授が「カーボンニュートラル時代、木の新たな時代を拓く」と題して基調講演し、来場者は熱心に聴講。このほかブルーベリーの苗木とヒノキの入浴剤のプレゼントもあった。

津山商工会議所は20日、日本政策金融公庫と「事業承継支援に関する連携協定」を結んだ。同公庫の全国のネットワークを活用し、管内の後継者がいない中小企業や小規模事業者の事業譲渡などのマッチングに取り組む。

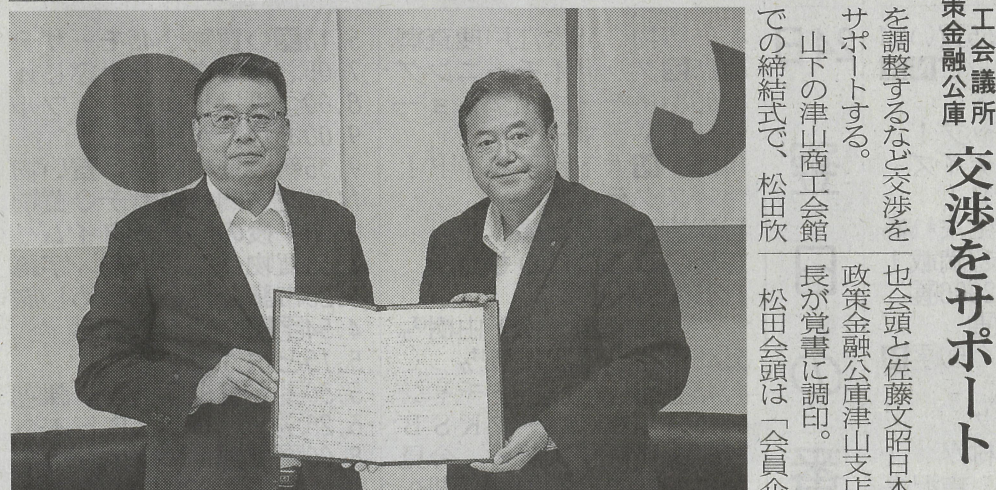
全国的に大きな課題になっている中小企業の事業承継を促す狙い。会議所は会員企業への関連情報提供と事業譲渡希望者の掘り起こしを進め、同公庫は該当する事業者が事業承継マッチングサービスに登録後、相手先を探索して希望があれば売り手、買い手双方の面談

事業承継支援で協定

津山商工会議所 日本政策金融公庫 交渉をサポート

2023年度から5年間を計画期間とする「第5次津山男女共同参画さんさんプラン」（素案）を谷口圭三市長に答申した。市は11

「人権の尊重と安全・安心な暮らしの実現」「あらゆる分野への男女共同参画の推進（女性活躍推進計画）」の四つの柱を掲げる。第



業を守るために大変有効。県内の後継者不在率は63・4%と全国を上回り、マッチング支援により企業活動が受け継がれ、事業者の減少、地域経済の衰退に歯止めがかかることを願っている。

佐藤支店長は「マッチング支援の申込実績は昨年度3000件を超え、前年度の8倍に上る。会議所との連携ががきになり、地域で必要とされる事業を一つでも多く次世代に引き継ぐため全力で取り組む」と述べた。

同様の協定は県下12会議所では倉敷、総社、児島に次ぎ4例目。事業承継支援の連携協定を交わした佐藤支店長（左）と松田会頭

を調整するなど交渉をサポートする。

山下の津山商工会館での締結式で、松田欣也会頭と佐藤文昭日本政策金融公庫津山支店長が覚書に調印。

松田会頭は「会員企